

基本目標	1 ～そうさ!!匠瑳で働こう～ 地域における若者の雇用を創出する
関係課	産業振興課

1 数値目標

指標	目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31)	進捗度
市内事業所従業員数	14,900人	14,729人	-	-				-
数値目標実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 	市内事業所従業員数の増加に向けては、市の様々な分野における一体的な産業振興が必要となる。そのため、下記具体的施策に掲げた事項をバランスよく推進していく必要がある。							
今後の方針等 <ul style="list-style-type: none"> ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 	今後も具体的施策を推進していくとともに、産業間の連携についても視野に入れながら取り組んでいく。							

2 具体的施策とKPI

(1) 農林水産業の活性化

① 「日本有数の植木のまち」の推進

指標	目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31)	進捗度
A アンタルヤ国際園芸博覧会を契機とした植木売買契約締結数	2件	0件	0件	3件				◎
B 植木めぐりツアー、まち歩きコースなど観光コンテンツの作成	3件	0件	0件	2件				○
C 植木めぐりツアー、まち歩きコースなど観光コンテンツの参加者数	120人	0人	0人	0人				△
D 千葉県銘木100選登録数	48本	42本	45本	57本				◎
E 輸出樹種数	12樹種	9樹種	9樹種	9樹種				○
KPI実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 	A	既にKPIを達成。トルコ共和国との繋がりが構築されたことにより、今後も継続的な引き合いが見込まれている。						
	B	植木ガイドマップの中でコースを設定（徒歩コース1件・ドライブコース1件）。						
	C	平成28年度における観光分野との連携は、コース設定やガイドマップ作成に留まり、実際のツアー等の実施は行わなかった。						
	D	既にKPIを達成。						

	E	輸出の現場では、出荷相手国のニーズや検疫体制に適合した樹種の選定が行われている。
今後の方針等 (・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法)	A	匠瑳市植木組合の活動を注視する。
	B	引き続き新たなコースを検討する。特に、現状のコースは駅から出発するルートのため、市の北部・南部のルートを検討する。
	C	上記コース作りと連動し、まち歩きツアーやバスツアー等を企画・実行を検討する。
	D	今後も匠瑳市植木組合等と連携し、候補木の掘り起しを継続する。
	E	国際的な展示博覧会への出展やバイヤー誘致等を通じて、出荷相手国のニーズや検疫体制に適合した樹種の選定を継続する。

② 新規就農者の確保

指標		目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31)	進捗度
A	認定農業者数	280件	254件	263件	270件				○
B	認定新規就農者数	10件	3件	5件	9件				○
KPI実績値に対する課題等 (・実施事項 ・実績値の要因 ・課題)		A 認定制度の周知等による新規認定者の確保及び認定期間満了者への更新を促すことにより、順調に進捗している。認定者の高齢化・後継者不足が課題となる。 B 新規就農者への支援事業の実施により、順調に進捗している。農業経営者として定着できるかが課題となる。							
今後の方針等 (・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法)		A 現在の取組みを継続するとともに、集落営農等、農業経営の法人化を推進するなど、地域の後継者となる担い手の育成に向けた取組みを行う。 B 現在の取組みを継続するとともに、就農後のサポート体制を強化するなど、農業経営の安定化に向けた支援を行う。							

③ 農業の企業経営化の推進

指標		目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31)	進捗度
A	経営体育成基盤整備(大区画)事業着手数(累計)	3地区	3地区	3地区	3地区				◎
B	複合経営に取り組む農家(事業体)数	200件	141件	148件	145件				△
KPI実績値に対する課題等 (・実施事項 ・実績値の要因 ・課題)		A	既にKPIを達成。						
		B	市内の複合農家は、水稲経営との複合経営に取り組む農家が主である。近年、水稲経営については、小規模農家から水稲専作の大規模経営体への経営委託が増加傾向にあるため、進捗は芳しくない。						
今後の方針等 (・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法)		A	事業完了後の農地集積を推進する。						
		B	水稲複合農家の大幅な増加は見込めないため、それ以外の複合経営について、関係機関と連携し検討・推進していく。						

④ 6次産業化の推進

指標		目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31)	進捗度
A	6次産業化に取り組む農家(事業体)数	20件	17件	16件	16件				×
KPI実績値に対する課題等 (・実施事項 ・実績値の要因 ・課題)		A	6次産業化に取り組む農家数は、近年横ばいの状態が続いている。						
今後の方針等 (・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法)		A	農家レストランなどの開発促進を進め、雇用の確保、所得の安定化などの支援を図る。						

⑤ 生産基盤の強化と施設などの保全管理

指標		目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31)	進捗度
A	農地利用集積面積	804ha	344ha	359ha	377ha				△
KPI実績値に対する課題等 (・実施事項 ・実績値の要因 ・課題)		A	多くの方に農地利用集積を行っていただいているが、目標への進捗は芳しくない。						
今後の方針等 (・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法)		A	休耕地などの所有者に対して、貸付・売買を積極的に呼び掛けていく。						

⑥ 耕作放棄地の発生防止・解消

指標		目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31)	進捗度
A	耕作放棄地面積	480ha	517ha	520ha	521ha				×
KPI実績値に対する課題等 〔 ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 〕		A	国事業である耕作放棄地再生利用緊急対策事業の実施や耕作放棄地対策に関するリーフレットの掲出を実施したが、土地所有者が高齢化により耕作をせず、耕作放棄地の面積が増大している。						
今後の方針等 〔 ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 〕		A	引き続き耕作放棄地再生利用緊急対策事業のPRや耕作放棄地対策に関するリーフレットの掲出を行っていく。						

(2) 産業振興および産業間連携の推進

① 地域外からの企業誘致の推進

指標		目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31)	進捗度
A	地域外からの企業誘致数	1件	0件/年	0件	0件				×
B	企業誘致条例による奨励措置適用事業所数	6か所	5か所	7か所	9か所				◎
KPI実績値に対する課題等 〔 ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 〕		A	地域外からの企業誘致については、みどり平工業団地の空き区画がないことなどから積極的な誘致が行えていない。						
		B	企業誘致条例では、対象業種で3,000万円以上の建物、土地、償却資産の投資があった場合に固定資産税の5年間の免除という奨励措置を行っている。今年度は2件の申請があり、奨励措置を講じた。						
今後の方針等 〔 ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 〕		A	農村地域工業等導入促進法の改正により、企業が進出するにあたり農地転用など土地利用上の措置を行う事ができる対象業種の限定がなくなった。また、地域未来投資促進法の施行により、地域特性を生かした成長産業を重点的に支援できるようになる。これらを活用し、地域経済を牽引する企業の誘致に努めていく。						
		B	企業誘致及び雇用促進に関する条例への一部改正を行い、固定資産税減免措置を講じる対象業種を拡大した。また雇用奨励補助金を新設し、市民の正規採用への補助を行うこととした。制度の拡充により、域外企業の誘致や域内企業の設備投資を促進していく。						

② 起業支援の推進

指標		目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31)	進捗度
A	年間起業数	10件/年	4件/年	4件/年	3件/年				△
B	経営相談指導件数	2,500件/年	1,902件/年	2,303件/年	2,491件/年				○
KPI実績値に対する課題等 (・実施事項 ・実績値の要因 ・課題)		A	前年度比1件減となったが、創業の判断は資金面などから慎重に行うべきものであり、年度による創業件数には多少の変動はあるため、その範囲内である。市内での創業の機運は高まっているため、翌年度以降の件数増加には期待できる。						
		B	地元中小企業は資金需要、経営改善、販路拡大などで市商工会への相談を行っている。件数は前年比8%増で計画期間中でのKPI達成は見込める。						
今後の方針等 (・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法)		A	新たに創業資金利子補給金制度を創設した。日本政策金融公庫及び千葉県から創業関連融資を受けた際に、利子の一部を補給し創業支援を行う。市の創業支援事業計画により市商工会が開催する創業塾の受講を勧め、创业者のスタートアップ支援を行う。						
		B	地元中小企業経営者の高齢化が進んでおり、今後は事業承継などで相談件数の増加が想定される。適切な指導により、地元中小企業の経営力強化を図っていく。						

③ 若者の就労支援

指標		目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31)	進捗度
A	市内企業と若者のマッチング支援による就職者数	10人	0人	0人	0人				×
KPI実績値に対する課題等 (・実施事項 ・実績値の要因 ・課題)		A	具体的な事業の実施なし。						
		A	国の「地方創生推進交付金」や「実践型地域雇用創造事業」を活用し、合同就職説明会や就職セミナーの実施を検討していく。参加者の就職状況を追跡調査し実績に結びつける。						

④ ブランド化の推進

指標		目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31)	進捗度
A	ブランド商品選定数	10品	0品	13品	13品				◎
B	新たな特産品開発数	1品	0品	0品	0品				×
KPI実績値に対する課題等 (実施事項 ・実績値の要因 ・課題)		A	KPI達成済。						
		B	具体的な実施実績なし。事業者にとって特産品開発は、大きなコストのかかることであり、市がいかにサポートできるかが課題である。						
今後の方針等 (取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法)		A	真に本市の目玉となる商品を選定し、市外から県外、また海外に対して発信していけるような匠瑳市ブランドを確立していく。また、ブランド発信の体制づくり民間事業者と協力しながら推進していく。						
		B	事業者の声に耳を傾け、市商工会など関係団体と連携しながら域外でも強く購買されるような特産品の開発に官民が一体となって取り組んでいく。						

⑤ 効果的な観光情報の発信

指標		目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31)	進捗度
A	観光ガイドブックによるおすすめルート設定数	10ルート	4ルート	4ルート	4ルート				○
B	匠瑳市をロケ地とする映画・番組数	10本/年	7本/年	5本/年	4本/年				△
C	歴史的建造物などを活用したイベント開催件数	3回/年	2回/年	2回/年	2回/年				△
KPI実績値に対する課題等 (実施事項 ・実績値の要因 ・課題)		A	平成27年度から28年度にかけては、「地井武男ふれあい記念館」の閉館に伴い、同記念館を基点とした2ルートを廃止したが、新規で2ルートを設定したため、実績値に変化はなかった。						
		B	平成28年度は、ロケ地の候補として9件の問い合わせがあり。誘致を図ったが、うち5件は撮影条件が合わず、採用されなかった。						
		C	従来から開催している、「飯高檀林跡」でのコンサート2回にとどまっている。						
今後の方針等 (取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法)		A	引き続き、新規ルートの開拓に努める。						
		B	映画・番組等の制作会社と、ロケ地となる施設等との相互調整を迅速に行い、ロケ誘致に努める。						

匠瑳市総合戦略 進行管理シート（平成28年度実績）

基本目標	2 ～そうさ!!匠瑳で暮らそう～ 匠瑳市への定住促進を進める
関係課	企画課

1 数値目標

指標	目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31)	進捗度
社会増減数	▲291人		▲177人	▲326人				△
数値目標実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 	<p>下記具体的施策に掲げた事業を実施するとともに、千葉県や市内のNPO法人と連携して移住相談会を実施する等、数値目標の改善に努めてきた。 本市への移住・定住をさらに促進するため、移住相談会等多くの場で本市の魅力をPRするとともに、先進事例や移住者の体験談等を参考にしながら、移住促進のための事業の充実を検討・実施する必要がある。</p>							
今後の方針等 <ul style="list-style-type: none"> ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 	<p>引き続き下記具体的施策や移住相談会等を実施する。 また、移住促進に係る先進事例の研究や、移住者の体験談の聞き取り等を行い、体験談をPRに活用する等移住・定住促進のための事業の充実を検討する。</p>							

2 具体的施策とKPI

① 定住・移住人口の確保

指標	目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31)	進捗度
A 転入者マイホーム取得奨励金を活用した転入者数	380人	188人	284人	344人				○
B 空き家バンク物件登録数	50件	15件	18件	24件				△
C 空き家バンク成約数	15件	4件	6件	9件				○
KPI実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 	<p>A 転入者マイホーム取得奨励金交付事業（匠瑳市に定住する意思を持って市外から転入し、新築又は中古住宅を取得した人に奨励金を交付）を実施。市民課窓口や地域イベント、移住相談会等で周知を行ったこともあり、KPIが順調に進捗している。また、利用者アンケートでは、8割強が「住宅取得・転入のきっかけになった」と回答しており、事業の有効性は高い。一方、同アンケートにおいて利用者の6割強が「転入以前に奨励金を知らなかった」と回答しており、事業のさらなる周知が課題である。</p> <p>B 空き家バンクの物件登録数を増やすため、固定資産税納税通知書に事業の案内を同封しているが、登録物件数が思うように伸びていない。現在は、物件登録を受動的に受け付けている状況であるため、今後は空き家所有者に対して積極的に登録を促していく取組が必要である。</p> <p>C 空き家バンク登録物件を、窓口や地域イベント、移住相談会等で周知した。成約数のさらなる増加に向けては、登録物件数の増加（特に賃貸物件）、利用者のニーズに合った物件の提供（状態にこだわらず、安価な住宅を求める利用者が多い）が課題である。</p>							
今後の方針等 <ul style="list-style-type: none"> ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 	<p>A 転入者マイホーム取得奨励金交付事業は、平成29年度までの事業であるため、同年度中に事業の継続の可否及び制度設計の再検討を行う。</p> <p>B 平成28年度に都市整備課において市内の空き家実態調査を実施したため、空き家の情報共有を図り、利用可能な空き家所有者に対しては、空き家バンクへの登録を積極的に呼びかけていく。</p>							

C	引き続き登録物件の周知を図るとともに、空き家所有者に対して利用者のニーズを伝える等、利用者のニーズに合った物件の提供に努める。
---	---

② 高校生のまちづくりへの参加

指標		目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31)	進捗度
A	匠瑛に住み続けたいと考える高校生の割合	15.0%	9.0%	-	-				○
KPI実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 		A	市内の各高等学校の生徒から匠瑛市に対する意見を伺い、今後のまちづくり及び高校生のまちづくりへの参加に向けた各種事業の参考とするため、「匠瑛市と高校生の意見交換会」を開催。高校生から市に対する様々な意見が寄せられた。今後は、本意見交換会をきっかけに、取組をさらに発展させていく必要がある。						
今後の方針等 <ul style="list-style-type: none"> ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 		A	意見交換会の中で、「学校と地域との交流イベント」実施の提案があったため、平成29年度は「よかっぺ祭り」へ高校生が参画する機会を設ける方向で取り組む。また、今後も高校生が市にかかわることのできる機会を継続的に設けるとともに、市内高等学校と情報交換を密にしていく。 これらの取組を通して、高校生が匠瑛市により親しみをもつことを目指す。						

③ 生涯活躍のまちづくり

指標		目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31)	進捗度
A	生涯活躍のまちづくり検討のための協議会設置数	1件以上	0件	0件	1件				◎
B	生涯活躍のまち拠点の設置数	1件以上	0件	0件	0件				○
KPI実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 		A	国の地方創生加速化交付金を活用し、匠瑛市版CCRC構想策定等事業(飯倉地区)を実施。社会福祉法人九十九里ホームが事業主体となり推進する「匠瑛市版生涯活躍のまち」の事業計画案作成等を支援した。事業計画案の検討に当たっては、事業主体、学識経験者、金融機関、地域団体等で構成する「飯倉駅前地区まちづくり協議会」で協議を重ねた。 今後は、事業計画案の内容をより具体化し、事業工程や経費等を精査していくことが課題である。						
		B	匠瑛市版生涯活躍のまちに係る事業計画案作成に当たり、まちづくり協議会において生涯活躍のまち拠点をもつ機能等について協議した。拠点の整備については、事業主体が順次進めているところである。今後も生涯活躍のまち拠点がより効果的に機能するよう検討を重ねる必要がある。						
今後の方針等 <ul style="list-style-type: none"> ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 		A	匠瑛市版CCRC構想策定等事業(飯倉地区)の成果を、後継事業である「匠瑛市版生涯活躍のまち形成事業」に活かし、さらに取組を具体化・発展させていく。 なお、平成29年度は匠瑛市版生涯活躍のまちに係るPR・プロモーション手法の検討のためのマーケティング調査や、今後の具体的な事業内容や行程、経費等の概要を示した実施計画案を作成する予定である。						
		B	匠瑛市版生涯活躍のまち形成事業の中で、生涯活躍のまち拠点をもつ機能等について検討を重ねる方針である。						

3 匠瑛市まち・ひと・しごと創生市民会議での意見

--

匠瑳市総合戦略 進行管理シート（平成28年度実績）

基本目標	3 ～そうさ!!匠瑳で育てよう～ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望を満たす
関係課	福祉課、健康管理課、学校教育課、企画課

1 数値目標

指標	目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31)	進捗度
合計特殊出生率	1.47	1.35	1.37	1.24				△
数値目標実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 	下記具体的施策に掲げた事業を実施し、結婚・出産・子育て等、それぞれのライフステージに合わせた支援を行った。							
今後の方針等 <ul style="list-style-type: none"> ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 	引き続き各施策の実施・充実に努めるとともに、ホームページ等において各種取組に関する情報をわかりやすく提供する。							

2 具体的施策とKPI

① 子育て世代のコミュニケーションの充実

指標	目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31)	進捗度
A 年間つどいの広場利用者数	9,000人/年	8,661人/年	8,797人/年	6,919人/年				△
B 子育てサークル数	2サークル	1サークル	1サークル	1サークル				△
KPI実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 	<p>A 乳幼児を持つ親子が気軽につどい、情報交換や交流のできる場所を提供するとともに、参加者から寄せられる相談内容や研修等で紹介された情報等を盛り込んだ講習会を実施して利用者拡大を図っているが、保育料の第2子半額、第3子無料化等の子育て支援施策の実施により保育所利用者が増加しているため、つどいの広場利用者は減少している。</p> <p>B 子育てサークルの活動の場の提供、広報等による周知を行ったが、サークル数の増加には至っていない。</p>							
今後の方針等 <ul style="list-style-type: none"> ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 	<p>A 母子保健法の改正により、市町村は妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を提供する、子育て世代包括支援センターを設置することになった。つどいの広場は子育て支援に関する情報や相談・助言を提供する場として重要な役割を担うことになるため、研修等の受講により子育て支援アドバイザーのスキルアップを図るとともに、広報等によりつどいの広場の周知を図り、利用を促進する。</p> <p>B 子育てサークル活動の周知方法・内容の見直しを行い、参加しやすい環境の整備に努める。</p>							

② 子育て世代の負担軽減

指標		目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31)	進捗度
A	病児・病後児保育実施か所数	1か所	0か所	0か所	0か所				△
B	一時保育実施か所数	8か所	7か所	7か所	7か所				○
C	障害児保育実施か所数 (助成か所数)	11か所 (7か所)	11か所 (6か所)	11か所 (0か所)	11か所 (0か所)				△
D	育児休業取得率	男性10.0% 女性40.0%	男性2.6% 女性31.9%	-	-				-
E	子育てについて不安や負担を感じる人の割合	3.0%	5.1%	-	-				-
KPI実績値に対する課題等 (実施事項 実績値の要因 課題)		A	病児・病後児保育事業は、看護師等の人材確保に加えて、感染症等に罹患している児童を保育する保育室や医療設備の設置が必要となるため、既存の保育園が実施することは困難である。						
		B	現在民間保育園7園において、一時保育を実施している。						
		C	現在公立・民間保育園において障害児保育を実施している。障害児保育に係る助成金の支給基準を満たす保育士数を確保できていないため、助成か所数はゼロとなっている。						
		D	現状具体的な取組なし						
		E	本基本目標に掲げた具体的施策や、「匠瑤市子ども・子育て支援事業計画」に掲げられた施策を推進・実施した。						
今後の方針等 (取組方針 実施予定事項 課題解決方法)		A	平成30年4月開園に向けて、社会福祉法人九十九里ホームによる認定こども園整備が進められている。こども園事業と併せて、病児・病後児保育事業の実施についても協議を行っている。						
		B	上記認定こども園において、一時保育事業を実施する予定。						
		C	障害児保育については実施済みであるが、助成か所数増加の課題である保育士数の確保に向けて、保育士の処遇改善等を検討する。なお、県全体で保育士の処遇改善の動きがあるため、そちらの動向も注視する。						
		D	育児休業取得率が高い企業を優良企業として、広報、市ホームページ、SNS等を活用して紹介することを検討する。						
		E	今後も、本基本目標に掲げた具体的施策や、「匠瑤市子ども・子育て支援事業計画」に掲げられた施策を総合的に推進し、子育てについて不安や負担の軽減に努める。						

③ 子どもたちの遊び場の確保

指標		目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31)	進捗度
A	放課後児童クラブ実施か所数	14か所	11か所	11か所	11か所				○
KPI実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 		A	当初目標としていた3か所の増設だが、1か所については、平成28年度より子ども教室を併設し、現在、待機児童は出ていない。1か所については、校舎を改築し活動スペースを増やした。1か所については、平成29年度より空き教室を一教室増やし、活動スペースを増やした。						
今後の方針等 <ul style="list-style-type: none"> ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 		A	引き続き、入所児童の動向を調査し、必要に応じて、増設等を図っていく。						

④ 出産しやすい環境づくり

指標		目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31)	進捗度
A	両親学級への参加率	30.0%	22.8%	18.5%	20.4				△
KPI実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 		A	マタニティクラス（両親学級）で、健やかなマタニティライフを送り、安心して出産、育児が迎えられるように相談や情報提供を行っている。参加率の伸び悩みには、仕事を優先していることや、受診先でのマタニティクラスに参加していることが要因のひとつとも考えられる。						
今後の方針等 <ul style="list-style-type: none"> ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 		A	マタニティクラス（両親学級）の参加率増加のため、案内通知の内容を変更していくとともに、受診先で実施していない内容を盛り込むなど、興味を持ってもらえる教室内容を検討していく。						

⑤ 婚活支援の充実

指標		目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31)	進捗度
A	婚活イベントのカップル数	150組	47組	63組	87組				○
B	婚活サポーター数	10人	0人	0人	0人				×
KPI実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 		A	平成28年度は5回の婚活イベントを開催し、合計24名のカップルが成立した。一方で、男性参加者の固定化や、女性参加者の確保が困難という課題がある。						
		B	婚活サポーター制度に係る先進事例を研究し、平成29年度当初予算に予算計上した。						
今後の方針等 <ul style="list-style-type: none"> ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 		A	新たな参加者の確保のため、魅力的なイベントを企画するとともに、広報や市ホームページをはじめ、SNS等様々な媒体での事業周知を図っていく。また、イベント実施後のサポート等、イベント以外での結婚に向けた支援を充実させていく。						

	B	平成29年8月1日に婚活サポーター制度を創設した。同日から婚活サポーターの募集を開始している。
--	---	---

3 匠瑳市まち・ひと・しごと創生市民会議での意見

--

匠瑤市総合戦略 進行管理シート（平成28年度実績）

基本目標	4 ～そうさ!!匠瑤でつながろう～ 地域との多様な連携を進める
関係課	環境生活課、産業振興課、企画課

1 数値目標

指標	目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31)	進捗度
協働によるまちづくりが推進されている と思う市民割合	20.0%	15.7%	-	-				-
数値目標実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 	平成27年度に市民協働指針、市民協働推進条例を定め、平成28年度から同条例を施行する等、下記の具体的施策に掲げた取組をはじめとして、市民協働推進の主管課である環境生活課での各種事業（市民提案型事業に対する助成等）を通して、協働の理念が根付くよう努めている。							
今後の方針等 <ul style="list-style-type: none"> ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 	今後も、協働について庁内及び市民周知を図りつつ、市の様々な事業の中に協働という視点を盛り込むよう努める。							

2 具体的施策とKPI

① 多様な主体による連携・協働の促進

指標	目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31)	進捗度
A 市内企業と若者のマッチング支援による就職者数（再掲）	10人	0人	0人	0人				×
B 婚活サポーター数（再掲）	10人	0人	0人	0人				×
KPI実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 	A	具体的な事業の実施なし。						
	B	婚活サポーター制度に係る先進事例を研究し、平成29年度当初予算に予算計上した。						
今後の方針等 <ul style="list-style-type: none"> ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 	A	国の「地方創生推進交付金」や「実践型地域雇用創造事業」を活用し、合同就職説明会や就職セミナーの実施を検討していく。参加者の就職状況を追跡調査し実績に結び付ける。						
	B	平成29年度中に婚活サポーター制度を創設する。また、サポーター及び利用者の募集を行い、具体的に制度を動かしていく。						

② 交流人口の増加

指標		目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31)	進捗度
A	観光入込客数	1,100,000人/年	1,017,659人/年	976,678人/年	954,059人/年				△
B	宿泊客数	18,500人/年	18,460人/年	14,313人/年	5,553人/年				△
KPI実績値に対する課題等 (実施事項 ・実績値の要因 ・課題)		A	そうさチューリップ祭り、木積のふじ祭、駒まね、市場まつり、八重垣神社祇園祭、よかっぺ祭り、そうさ農業まつり等のイベントや、ふれあいパーク八日市場、飯高寺、ゴルフ場、海岸等の観光地等の入込客数を調査した。						
		B	国民宿舎の廃業等、宿泊施設の減少による。						
今後の方針等 (取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法)		A	各種イベント内容の充実や観光情報の周知に努め、入込客数増加を図る。						
		B	宿泊業を営む企業の固定資産税免除措置等により、宿泊施設の誘致を図る。						

③ 都市と農村の交流の推進

指標		目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31)	進捗度
A	市民農園利用者数	90人	29人	32人	33人				△
B	農業体験・交流イベント参加者数	700人/年	560人/年	767人/年	599人/年				○
KPI実績値に対する課題等 (実施事項 ・実績値の要因 ・課題)		A	第一市民農園の利用者数は、ここ数年を見てもほぼ変わらない。一方、平成26年度に設立した第二市民農園の利用者数はまだ少ない。課題として、環境の悪さ(日陰がない)、使用料金の高さなどが挙げられている。						
		B	150~200名の参加者を想定していたイベント1件が台風により中止になってしまったため、平成27年度よりも参加者数が減少してしまった。						
今後の方針等 (取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法)		A	特に第二市民農園に関して、PRや整備等を積極的に行い、利用しやすい市民農園を目指す。						
		B	引き続きイベントの開催を行っていき、より多くの方に参加してもらおう。						

3 匠瑛市まち・ひと・しごと創生市民会議での意見

重要業績評価指標(KPI)の状況
平成29年3月現在

KPI全体の状況		◎	○	△	×	－	計
①	該当個数	6	15	15	9	2	47
②	率(%)	12.77	31.91	31.91	19.15	4.26	100

◎+○ 個数 21個 率 44.68 %

基本目標1 ~そうさ!!匠で働こう~ 地域における若者の雇用を創出する	◎	○	△	×	－	計
	5	7	6	6	0	24
(1)農水産業の活性化	◎	○	△	×	－	小計
	3	4	3	2	0	12
① 日本有数の植木のまちの推進	2	2	1			5
② 新規就農者の確保		2				2
③ 農業の企業経営化の推進	1		1			2
④ 6次産業化の推進				1		1
⑤ 生産基盤の強化と施設等の保安全管理			1			1
⑥ 耕作放棄地の発生防止・解消				1		1
(2)産業振興及び産業間連携の推進	◎	○	△	×	－	小計
	2	3	3	4	0	12
① 地域外からの企業誘致の推進	1			1		2
② 起業支援の推進		1	1			2
③ 若者の就労支援				1		1
④ ブランド化の推進	1			1		2
⑤ 効果的な観光情報の発信		1	2			3
⑥ 中小企業の経営基盤強化		1		1		2

基本目標2 ~そうさ!!匠で暮らそう~ 匠市への定住促進を進める	◎	○	△	×	－	計
	1	4	1	0	0	6
① 定住・移住人口の確保		2	1			3
② 高校生のまちづくりへの参加		1				1
③ 生涯活躍のまちづくり	1	1				2

基本目標3 ~そうさ!!匠で育てよう~ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望を満たす	◎	○	△	×	－	計
	0	3	5	1	2	11
① 子育て世代のコミュニケーションの充実			2			2
② 子育て世代の負担軽減		1	2		2	5
③ 子どもたちの遊び場の確保		1				1
④ 出産しやすい環境づくり			1			1
⑤ 婚活支援の充実		1		1		2

基本目標4 ~そうさ!!匠でつながろう~ 地域との多様な連携を進める	◎	○	△	×	－	計
	0	1	3	2	0	6
① 多様な主体による連携・協働の促進(再掲2件)				2		2
② 交流人口の増加			2			2
③ 都市と農村の交流の推進		1	1			2

備考

◎・・・目標達成

○・・・順調に進捗

△・・・あまり進捗していない

×・・・戦略策定時を下回った・未実施

－・・・未判定

※ 数値及び取組内容等を総合的に判断